



朝日とともに…

令和6年度消防団任命式

4月1日早朝、消防団の任命式が厳かに行われました。澄んだ朝の空気に響き渡るラッパの音に背中を押され、緊張でこわばる新団員の表情が初々しく思える一方で、地域防災の大きな力に頼もしさを感じました。

もくじ

- 3月定例会 2
- 臨時会・全員協議会 3
- 議会と住民との懇談会・委員会報告 4
- 一般質問 村政に問う 5-9
- 議員活動報告・議会活動日誌 10-11
- 村民の声・ちょこっと訪問・編集後記 12

●「議会だより」第52号

発行日／2024年4月30日
発行／朝日村議会
〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
大字古見1555番地1
TEL. 0263-99-2001 (代)
FAX. 0263-99-2745
Eメール: gikai@vill.asahi.nagano.jp
印刷／日本ハイコム株式会社

令和6年度
一般会計当初予算

総額37億5,400万円

3月
定例会
3/5 ~ 14

3月の定例議会は3月5日(火)～3月14日(木)までの10日間開催された。
今議会では令和6年度の当初予算の審議が行われ、同報系防災行政無線設備工事、診療所建設事業、保育園2歳児クラス保育料無償化等、新年度予算総額37億5,400万円で骨格予算編成とした前年比4億2,800万円の増額となった。14日最終日には上程されたすべての議案を原案通り可決した。

予算……………14件
(令和5年度補正予算)(令和6年度当初予算)
条例……………10件
その他……………1件

陳情…3件 採択
耐震診断・耐震改修に関する陳情
最低制限価格の制定に関する陳情
国土交通省告示第98号の履行に関する陳情書

問

補助回数の制限はあるのか。

高齢者補聴器購入費用補助金
254万円

答

集落支援員の今後の活動計画は、これまでの活動は一旦整理し、次のステップに踏み出す活動をしていきたい。
集落施設環境改善事業補助金は耐震化にも使えるのか。
施設の利便向上を目的とした補助である。

問

答

協働のむらづくり推進事業
878万円

問

災害時に活用できるものか。
災害時に活用できる電源の供給ができるものを想定している。

電気自動車購入事業
300万円

当初予算
全員協議会 質疑

- 人口確保対策
- 子育て支援
- 防災減災
- DX・GX推進
- 公共施設老朽化・インフラ長寿命化
- 高齢者福祉の充実
- 物価高騰対策

令和6年度予算の重点テーマ

問

子育て家庭の経済的負担軽減を図る。

2歳児クラス保育料無償化

答

この中の病害虫駆除は松くい虫駆除のことなのか。
森林環境譲与税を活用した松くい虫の防除対策を含んでいる。

問

森林整備事業補助金
1,267万円

50万円。

空家除去の補助金を新設。上限150万円

答

今後、検討を重ね要綱を作成していく。



当初予算説明は2日間行われた

3月定例会 一般質問
動画配信しています

こちらから
どうぞ→



生中継を見逃してしまった…
ちょっと見てみたい…



いつでも どこでも 何度でも
議員ごとご覧いただけます

P5～9 一般質問 QRコードからどうぞ

令和5年度一般会計補正予算 9,740万円減額
総額38億4,980万円

歳出の主なものとしては、除雪費、物価高騰対応支援事業として生活支援商品券配布事業等の追加、また決算見込精査による財政調整基金への積立などが計上された。

歳入

国庫支出金 …… △1,866万4千円
県支出金 …… △2,813万円

支出

除雪費 …… 173万1千円
生活支援商品券配布事業 …… 1,173万2千円

臨時会

1月10日(水)に第1回臨時会が2月14日(水)には第2回臨時会が招集され、上程されたすべての議案を原案どおり可決した。

第1回臨時会

財産の取得について

公営住宅(旭ヶ丘団地) 1棟2戸の取得

指定管理者の指定について

ゲストハウス

TONARI 大久保正晃

一般会計補正予算(第6号)

2,040万円を追加し、総額を39億1,860万とした。

主なものは、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(生活支援商品券配布事業・低所得者向け給付金)

第2回臨時会

専決処分の承認

能登半島地震寄附金25万円

一般会計補正予算(第7号)

2,860万円を追加し、総額を39億4,720万とした。

主なものは、保育料徴収誤りによる返還金・戸籍振り仮名記載関連システム整備事業

全員協議会

1月10日

地区役員の見直し

安協朝日支部班長・保健補導員の廃止。

公共施設等再エネ導入可能性調査事業の結果報告

調査対象14施設の太陽光発電設備の設置可否の検討結果。

2月7日

保育料誤徴収

令和4・5年度の第3子保育料の誤徴収について説明。県多子世帯保育料減免事業・村半額減免措置がされていなかった。

2月14日

住宅造成について

中組西住宅団地造成事業計画について説明。約17区画。

子ども家庭センターの設置

母子保健機能と児童福祉機能の連携を強化するため令和6年度から住民福祉課に設置。

議会議員の請負の状況の公表に関する規程(制定)(議会)

地方自治法改正により地方公共団体

との請負が緩和されたため、その状況を明らかにするための規程。

3月14日

火災の告知放送について

消防局の通信指令システムから直接村内の防災行政無線に放送される連絡手段を終了したいとの説明。3市5村で連絡手段が統一されておらず「災害メール」「順次指令」に統一したい。

いきいき障がい福祉計画

最終案の報告を受けた。

第3次朝日村健康づくり計画

第1回策定委員会からの変更・修正点の報告。

アサヒマレットゴルフ場の今後について

検討の経過と今後について説明を受ける。地権者との契約通り令和8年5月までは運営をし、この間の借地料は支払う。

「議会議員の請負の状況の公表に関する規程」を制定しました

地方自治法の改正により、今まで議員は地方公共団体(村)との請負は禁止されていましたが300万円まで可能となりました。

このような場合は、議長に報告をし議長は村民にその内容を公表することになりました。

よりよい議会運営のため 議会に御意見をお寄せください 議会モニターを募集しています

何をやるの? 議会だよりを讀んでの感想、定例会等を傍聴いただいたの感想をお寄せいただきます。

どうやって意見を寄せるの? 年に2回会議を開催しています。お気軽に御参加ください。モニターと議員でざっくばらんに話をしています。

また、会議に出席しなくてもメールやFAXでお寄せいただいても結構です。



お申し込みはこちらから↓



よりよい議会運営のために
お力添えをお願いします。

議会と住民との懇談会 開催

2月14日に統一選挙後、新メンバーとなって初の懇談会を開催。出席者から熱い思いを伺った。

- ・通学路の除雪はPTAに任されているとのことだが除雪しきれていない
子どもたちの安全確保のため、地区管理にするなど早い解決策を
- ・地区未加入者、自主防災会のこれから、集落支援員の関わりについて
- ・若い世代の声、子どもの声、移住者の声を聞いて欲しい
- ・家も仕事もないのでは人（移住者）は来ない
- ・地域おこし協力隊、どれだけの人が活躍し、定住しているのか等々

この日、参加者4名というのは寂しい、発言できる場があるというのは良いこと、もっと周知が必要、もっと話し合える時間が欲しかった、との御意見をいただいた。

参加者を待つ緊張感とともに、初の懇談会が始まった。皆さんが真剣に語る姿に、身が引き締まる思いだった。

(清沢 敬子)



車座で懇談

議会運営委員会報告「住民懇談会にいただいた意見への議会对応」

●降雪時の通学路（歩道）の除雪について

社会文教委員会所管事項として、行政の教育委員会と建設環境課と懇談し、現状の行政の考えを確認、その後議会としての安全確保対策の考えをまとめ行政に要望書を提出した。

●地区未加入者対応を含め地区の課題整理に取り組んでほしい

集落支援員の活動も含め総務産業委員会の所管事項として協議検討に取り組む。

●議会で若い村民の声をもっと聞いてほしい

各常任委員会の活動にPTA・若い農業後継者・商工会員等若者の団体との懇談会を重点的に計画に入れる。

●地域おこし協力隊員の任期後のサポート

総務産業委員会で協力隊員との懇談等を実施する。

※今後行政からの回答および各常任委員会での協議検討結果が明確になった時点で、都度議会だより等で御報告してまいります。

(議会運営委員長 清沢 正毅)

総務産業委員会報告 陳情書3件を審議

委員会は3月8日に開催し、陳情第1号「耐震診断・耐震改修に関する陳情書」、陳情第2号「最低制限価格の設定に関する陳情書」、陳情第3号「国土交通省告示第98号の履行に関する陳情書」の3件について慎重に審議した結果、全会一致で採択すべきものとしました。

建築士の長時間労働の改善や後継者の育成が喫緊の課題であり、国土交通省告示に基づく算定を行うことや最低制限価格の設定の設置により、安全の確保や質の向上につながることを理解しました。

3月14日の委員長報告にて、村当局へ陳情の趣旨を賢察・検討されるよう要望を行いました。

(総務産業委員長 齊藤 正法)



村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢をたずねるものです。

こちらから
動画でご覧
いただけます。
▶



ところが聞きたい 9 議員20項目

豊田 恵美子 議員 (5頁)

- 1 朝日村のCO₂削減は小水力発電でよいのか
- 2 村の将来の医療体制の在り方について

清澤 あゆみ 議員 (6頁)

- 1 集落支援員について
- 2 災害備蓄品について

古池 美佐江 議員 (6頁)

- 1 空き家対策と空き家の利活用について
- 2 小学校プールの有効活用について
- 3 小学校の教員の配置について
- 4 若い世代からの聞き取りについて

小林 弘之 議員 (7頁)

- 1 朝日村防災計画について
- 2 朝日村消防団について

清沢 正毅 議員 (7頁)

- 1 朝日村の住宅耐震化の現状と今後の方針

清沢 敬子 議員 (8頁)

- 1 高齢者の地域コミュニティ活性化について
- 2 空家の利活用と移住定住促進について

齊藤 正法 議員 (8頁)

- 1 朝日村消防団の在り方について
- 2 松くい虫対策について

中村 文映 議員 (9頁)

- 1 村の防災計画について
- 2 村「2050ゼロカーボンビジョン」の進捗と小水力発電

羽多野 美映 議員 (9頁)

- 1 インフルエンザワクチン接種補助の妥当性
- 2 おたすけ台帳管理更新について
- 3 防災備蓄品と女性用生理用品の扱いについて

問 10代20代30代男女の協議会参加の検討を。医師不足の中、村内開業医確保の方策は。かかりつけ医として居住継続できる村の支援策はあるか。

村の将来の医療体制の在り方について

村長 森林保全は現在やっている。それ以上のCO₂削減目的のため小水力発電事業を進めたい。
建設環境課長 鎖川からの取水量は機械で制御、村の監視、松本地方建設事務所の監督下に置かれる。村民への説明会は地元の総意確認後行つ。

問 鎖川は水量が変動し涸れ川と言われるが取水制限で鎖川の流量は守れるか。鎖川の水量で長期事業継続ができるか。CO₂削減は小水力発電ではなく、森林保全と鎖川の生態系保全（イワナ等の産卵、孵化、成長の循環確保）ですべき。

朝日村のCO₂削減は小水力発電でよいのか

答

小水力発電については説明会を開く、医療については開かない。



豊田 恵美子 議員

村民に対面で説明する機会を



鎖川三俣上流域

副村長 医療の在り方協議会は20代30代が参加、今後補充はしない。検討結果は村民に周知広報しており村民への説明会は開かない。現協議会は、将来の村の医療の在り方を検討する協議会ではない。
医師には三村医院の立ち位置の継続を期待。村として住居併設の診療所建設、開業資金補助を考えている。





清澤 あゆみ 議員

集落支援員の 今後について



答 集落点検の引き続きの活動、団体間交流を行う

問 集落支援員の活動に行政が望んでいることは？

村長 地区住民との話し合いは引き続き行ってもらいながらどのように活動してもらうか組み立て中。今後どうあるべきかを考えていきたい。

問 今後の活動次第で人員を増やす予定はあるか。

企画財政課長 今後の活動状況をみながら判断していきたい。

災害備蓄品について

問 人口に対して何をどういう割合で備えているか？

総務課長 各家庭において3日分の備えがあると踏まえた上で、松本市の備蓄量を参考に備蓄。必要とする人の2日分の非常食4200食、パントリー250人分等。

問 今後の備蓄予定品、また管理方法は？

総務課長 女性の生理用品、ミルク、カイロ等を追加予定。ここでしか



りと見直しをして備蓄計画をまとめる。備品台帳で管理しながら更新も行っていく。備蓄品のリストを写真付きで作成し保管場所も公表する。また、災害時の備蓄品の配送方法等の体制を整える。

問 各地区の防災倉庫備品の補充について

総務課長 今年度各地区20万円を限度として備品の整備を行う。



古池 美佐江 議員

空き家対策と利活用の 進捗状況は



答 略式代執行で特定空き家一軒の解体を行った。僅かだが空き家は減っている。

問 今後も空き家は増えると推測されるがどう対処していくつもりか

建設環境課長 新規に空き家等除却補助金を予定し要綱を策定中である。

問 空き家抑制のために空き家になる可能性のある物件の所有者に意向調査をしたり、移住促進に向けて空き家をリノベーションし「長期滞在型お試し住宅」の充実を図るべきではないか。村営住宅ができるまでの施策はあるのか。

企画財政課長 ハード事業では一定の時間を要する。子育て将来世代の住宅取得補助金事業をしている。

小学校プールの利活用について

問 子どもから高齢者まで幅広い年齢層から聞き取りを行い、内容を選定して欲しい。プールの利活用の計画はあるか

教育次長 来年度公民館講座で試行的に行う。



若い世代からの聞き取りについて

問 子ども宛に手紙を出し返事をもらったり、学校や保育園の保護者会で意見等を聴く。また、村民から情報を買うという考えでポイントを付与するなどの工夫はどうか。若者世代に村政に関心をもってもらう具体策はあるか。

村長 各種コミュニティへの参加を行政が仕掛けていき、関心を引ききたい。



小林 弘之 議員

朝日村防災計画について



答 指定避難所の機能強化を図る

問 今後防災センター及び拠点避難地整備計画の考えはあるのか？

総務課長 今後一之沢地区の上流西沢へ砂防堰堤の建設計画が示され令和7年度建設工事着手の予定。針尾集落センターはこの計画に合わせて鎖川右岸防災センターの機能をどうするか検討していく。

村長 針尾地区への防災センターの必要性は所信表明でも言った。あそこには造ります。今適地を探している又は今後適地が生まれてきますからそこに向けて準備計画を進めています。

問 指定避難所の生活後の仮設住宅はどこに設置するのか？

総務課長 地域防災計画では仮設住宅建設場所は朝日小学校校庭西洗馬農村広場が建設予定地となっている。

問 倒壊家屋等、災害ゴミはどこに捨てる、まとめるのか？

建設環境課長 災害ゴミの一時仮置き場は朝日グラウンドを指定している。



参考 朝日村西洗馬防災センター

問 被害ボランティアの受け入れ態勢の構築はできているのか？

住民福祉課長 村の地域防災計画では社会福祉協議会がボランティアセンターを設置することになっている。

問 住宅への耐震補強事業の推奨はどのように推進していきますか？

建設環境課長 まず耐震診断を受けていただき倒壊する可能性がある家屋と診断された場合に補助事業の対象となります。

答 現在は低い、第4期の耐震改修促進計画の中で耐震化率向上に取組む



清沢 正毅 議員

朝日村住宅耐震化の現状と今後の方針



問 令和3年作成の第3期住宅耐震改修促進計画では非耐震住宅899戸（40・9％）、令和5年現在では耐震化率は何％か？朝日村の目標70％では低すぎるが計画の見直しをすべきでは？県では補助金を150万に上げるとの事朝日村はどうする？耐震化を進めるのにシエルト方式を考えたらず費用も安く済むが、村独自で補助対象にしたかどうか？

建設環境課長 戸数2,225戸内1,346戸（60％）、目標の70％に至っていない。更に209戸の耐震化が必要になる。耐震化率70％は朝日村での地震発生規模と被害想定を考慮して作成した。令和7年の第4期計画策定で国県の目標値を参考に見直す。現在村として補助金の引き上げは検討していない。県の耐震化専門委員会の耐震診断に基づいた工事であればならない為、シエルト方式を村独自では対象にはできない。

問 被災時の断水が一番気になるが、当村の水道配管の耐震化対策は万全か？

建設環境課長 総延長57km、耐震化と耐震化に適合している送水管を含め67・4％は対応できている。今後水源に近い導水管をメインに耐震化を進める。





清沢 敬子 議員

移住定住促進について



答 課題は、村の魅力発信による認知向上と住環境の整備

問 移住定住促進対策は？

企画財政課長 1冊で村の情報を網羅した移住者向け冊子、移住に関する情報を総括したウェブサイトを、移住特設サイトの作成。出会いサポートセンター結日（むすび）の婚活相談。第6次総合計画に基づき、首都圏での移住PR、移住体験、移住定住関連の支援金、空き家活用補助などの支援。宅地分譲、村営賃貸住宅の整備を行う。

空き家の利活用は？

副村長 朝日村空き家バンクでは、今まで賃貸を主流にやっていたが、売却もありとしている。

建設環境課長 今年度、山形村と連携して空き家の相談会（県の事業を活用）を計画している。

問 古民家を活かした宿泊施設、カフェなどや、村を良くするための取り組みに支援をしてはどうか。

企画財政課長 まだ創設されていないが、地域づくり支援金を検討中。



高齢者の地域コミュニティ活性化

問 地域サロンが開催されていない地区での開催は可能か？

住民福祉課長 地域サロンは、地域住民の皆さんが作るコミュニティの場。フレイル予防、食生活の話、朝日小唄体操も取り入れ好評。「地域サロンをやってもらいたい」の声は社協へ。



齊藤 正法 議員

松くい虫被害の状況は？



答 前年比約マイナス3.5%だが、引き続き伐倒駆除と樹種転換を推進する。

松くい虫について

問 松くい虫の駆除状況は？

産業振興課長 令和5年度の駆除本数は188本（古見43本、小野沢49本、西洗馬53本）。

問 被害が拡大した際のリスクは？

産業振興課長 次の5点が懸念される。1 処理能力を超え伐倒が困難になる、2 処理費用の確保が困難になる、3 枯損木が増え請け負える事業者が出てこない、4 民家や道路に倒木の危険性が高まる、5 白骨化による荒廃化、山林の多面的機能の低下。

問 今後の対応は？

産業振興課長 令和6年の秋以降に中古見の樹種転換事業を予定している。西洗馬については、1年間しっかりと伐倒駆除をして様子を見る。被害が減少しなければ周辺松林として新たな認識をしなければならないと捉えている。

消防団について

問 消防団員数は？

総務課長 新入団員6名、退団21名であり、令和6年度の団員数は123名（団員94名、機能別団員29名）。

問 消防ビジョンの推進は？

村長 消防団と総務課を中心に検討を進めている。ビジョンが出来て直ぐに何かが変わる事は無いと思うが、基本的に新しい組織に生まれ変わる事になると思う。





中村 文映 議員

CO₂調査と発電所開発企業の調査が必要では



答

森林経営活動として検討する
我々は我々なりに調査をする。

問 ゼロカーボンビジョン策定から2年、また、今議会で村長は「ゼロカーボンシティ宣言」をしたが、村の二酸化炭素(CO₂)総排出量や主な排出源を把握しているのか、総排出量や排出源を調査することで、今後の施策や対策が明確になると思うが。

建設環境課長 Jクレジットの研究は進んでいないが、排出量調査は森林経営活動を対象としたものと考えているので、産業振興課ともすり合わせおこない検討する。



発電所建設計画がある鎖川

問 小水力発電事業に対する村民の不安は開発企業への「不信任」。村は村民の不安を解消すべく、開発企業の信用調査を行うべきではないか。

建設環境課長 調査は行っていないが会社訪問を1回行い、概要を把握している。また、今開発は準大手ゼネコン50%商社30%開発会社20%の出資でSPC（特別目的会社）を組んで役割分担をして事業を行うと聞いている。

問 そんな話は初めて聞いた。信用調査会社の資料では開発企業の経営状況が悪い、信用調査をして村民に開示すべきでは。

建設環境課長 村は信用調査をした事が無いので即答できない。本当にSPCを組んでやるのかを、根拠を含めて確かめる。

村長 おっしゃることは分かりますので、我々は我々なりに調査をする。



羽多野 美映 議員

インフル接種補助 妥当性は？



答

助成事業終了後、保護者からの問い合わせがあった。

問 現状調査を行い、事業の継続、再開が妥当かを検討すべきではなかったか？

住民福祉課長 当初は目的達成したと判断したが、保護者からの問い合わせがあった。状況等よく見て助成を検討していく。

教育次長 アンケート行い、費用面の負担を感じている保護者からの回答を確認している。

村長 子育てにやさしい村として、こうした取組は一番進んでいないければいけなかった。当初の検討不足があったと思う。今後同様のケースがあれば注意をしていく。

おたすけ台帳の更新、適切な対応を



総務課長 台帳整備と管理は自主防災会に任せていた。個人情報取り扱い、記載の内容や更新の取りまとめ方法を全体で協議検討する。記載様式はHPへ掲載し、目的重要性を住民に周知することも早急に検討する。

公共施設への女性用生理用品設置について

住民福祉課長 松本市の取組のように、松本山雅から打診があった。詳細は今後詰めていく。

問 防災備蓄品として設置ができるか。

住民福祉課長 生理の貧困とは違った視点からの提案と受け止める。備蓄として普段使いができるかも含め検討する。



朝日村西洗馬防災センター、防災備蓄倉庫視察

3月15日に西洗馬防災センターと、わくわく館と公民館の間にある防災備蓄倉庫を視察した。朝日村西洗馬防災センターは鎖川右岸地域の災害時の避難場所となる。畳の部屋、2間続きのフローリングの部屋があり全部合わせると約110畳。太陽の光が差し込み暖かく広いスペースという印象を受けた。収容人数は約60人。外には防災倉庫がありここにも備蓄品が保管される。マンホールトイレも



4/11 竣工を迎えた西洗馬防災センター

設置されており、軒下にはかまどベンチも設置される。

わくわく館と公民館の間にある防災備蓄倉庫には非常食約4,200食、飲料水、簡易トイレ、段ボールベット、パーテーション、大人・子供用オムツ、マスク、消毒液、毛布、車イス等が保管されていた。

(清澤 あゆみ)



非常食等が保管されている備蓄倉庫

社会文教委員会 松本養護学校視察



職員の工夫が詰まった図書館



授業の様子も視察

1月30日、社会文教委員会では長野県松本養護学校の視察を行いました。学校の特性から平屋のバリアフリーが必須ですが、築50年の校舎は規模拡大を繰り返し、継ぎ目の多い廊下を平面上に移動が必要となる構造。使い勝手が悪いなか、職員の苦労と工夫が感じられる環境でした。「長野県特別支援学校整備基本方針」に基づき、大規模改修が本格的に始まり、令和10年竣工予定とのことで、デザイン基本計画を拝見し、動線に配慮したあたたかな校舎の完成が待ち遠しく感じました。

「わたしらしく わたしから せいいっぱい」の学校目標を掲げ、職員が生徒一人一人に応じた学びの追及をする姿が印象的でした。

(羽多野 美映)

議会活動日誌

1月

- 1 祝 熱田神社安全祈願祭
- 4 木 新年祝賀会・議会運営委員会
- 7 日 二十歳のつどい
- 8 祝 消防団出初式
- 10 水 第1回臨時会・全員協議会 **3P**
- 15 月 土地開発公社理事会
- 19 金 長野県地方自治政策課題研修会
- 23 火 議会運営研修会 **11P**
- 24 水 松塩地区広域施設組合議会運営委員会
- 25 木 松本広域連合議会運営委員会
- 30 火 松本養護学校視察
(社会文教委員会) **10P**

2月

- 2 金 松塩地区広域施設組合議会
- 3 土 差別をなくし人権を擁護する推進協議会
及び講演会
- 5 月 松本広域連合臨時会
- 7 水 全員協議会・議会運営委員会・
鉢盛中学校組合議会・
松塩筑木曾議会運営委員会
- 9 金 老人福祉計画及び
第9期介護保険計画策定委員会
- 14 水 第2回臨時会・全員協議会
住民との懇談会 **P3・P4**
- 20 火 県議長会定期総会 **11P**
- 27 火 議会運営委員会
- 28 水 第1次地域福祉計画策定推進委員会
- 29 木 第3回朝日村総合計画審議会

3月

- 5 火 3月議会定例会開会 本会議・
全員協議会 **2P**
- 6 水 全員協議会
- 8 金 常任委員会 **4P**
- 12 火 議会定例会本会議一般質問
- 14 木 議会定例会本会議・全員協議会
- 15 金 行政視察 **10P**
- 17 日 安協朝日支部総会
- 18 月 小学校卒業式
- 19 火 朝日村防災会議
第1回朝日村診療所開業医選考委員会
- 21 木 環境保全協議会
第1回朝日村診療所建設委員会
- 22 金 東筑議長会総会
第2回男女共同参画審議会
あさひ保育園卒園式
- 25 月 土地開発公社理事会
- 27 水 行政改革推進協議会
- 28 木 議会モニター会議
- 29 金 鎖川愛護会総会

県町村議会議長会主催 「議会運営委員会研修」参加報告

1月23日(火) 正副議長・総務産業、社会文教、議会運営正副委員長で参加。はじめに、「町村議会実態調査」結果の概要報告があり、次に、「地方議会の運営について」質疑応答があった。調査内容は議員定数、男女比率、年齢構成、在職年数、報酬、政務活動費交付、議会活性化に向けた取り組み、広報、デジタル化等。議員報酬は全国に比べ長野県は4万円低いと指摘され、政務活動費交付町村は10町村(月額換算約7千円)で、朝日村の交付はない。(県・市議会に政務活動費交付)。議会活動の質の向上について今回学んだことを今後に生かしていきたい。

(豊田 恵美子)

第38回長野県町村議会議長定期総会

2月20日に第38回長野県町村議会議長定期総会へ出席した。総会では本年1月に発生した能登半島地震における義援金の決議や令和5年の事業報告及び令和6年の事業計画の承認・決議がされた。特に能登半島地震においては被災状況から早期支援が必要であると会長から説明。チーム長野として支援の取り組みが必要であると話があった。本総会に上程された議案は全て可決された。その後、講師に東北大学の河村和徳先生を迎え、「議員のなり手不足対策」についての研修が行われた。2023年5月に地方自治法の改正が行われ、地方議員の職務等が明確化され、町村における地方議員の重要性について学んだ。当議会もなり手不足や議員報酬の見直しを含めて今後、議会で検討を進めていきたい。

(北村 直樹)



諏訪市で行われた総会

村民の声



古見区長

上條由紀夫さん

地域コミュニティの活性化

区長の役割は何かと問われた時に私は次の三項目を挙げたいと思います。

- 1、地域住民の安心、安全な環境作り
- 2、地区課題に対する行政及び村会議員への橋渡しと対策検討
- 3、これらを実践するための地域コミュニティの向上

今、自分を振り返ってみると昔は良かった…自由に生活してた…なんて思うことがしばしばあります。しかし時代は様変わりし、何かするたびにハラスメントだなんて言われるそんな時代になってしまいました。世の中アナログからデジタル化に急速に移行され会話はSNS上で行い、コミュニケーションが大幅に減少した事が要因の一つだと考えます。

そんな中、古見区長を拝命し一年が経ちましたが、自分の中では空回りしないよう運営委員とのコミュニケーションを第一に考え行動してきました。課題は沢山ありますが地域の皆さんと問題点を共有し改善に向けて地道に活動していきたいと思います。

我がむら再発見!

ちょこっと訪問

村内の施設やイベントに議員が訪問して
その取組や要望を聞く地域密着のコーナー

第20弾

フィディリティムサウンド カラマツ材スピーカー
～すべての人に寄り添う音の追及～

ジャズプレイヤーだった社長が「こだわりの楽器で奏でる音が圧着材のような材質のスピーカーを通して聴き手に届く」ことに疑問を感じ設立した「フィディリティムサウンド」。村産カラマツ材で制作したスピーカーの試聴に訪れた。小さな2つの箱から流れてくるパッヘルベルのカノンの音域の豊かさに期待以上の驚きと感動があった。偽装知識を披露すべきではないが、このスピーカーは凄いい。「楽器のボディが鳴っているという通り、リアルに再現できている」という通り、奏者と対面しているかのような錯覚に陥る。奏者、聴者だけでなく、スピーカー本体製作者へ敬意を持ち、性能を最大限に生かす工夫を随所にちりばめている。カラマツスピーカーは役場に問い合わせれば試聴も可能。

(羽多野美映)



▶朝日村産カラマツが美しい
フィディリティムサウンド
製スピーカー



村に寄贈されたスピーカー
には村章が刻まれている▶

編集後記

議員になって5年目が終わるが、編集後記を書くのは3回目。長く編集に関わらせて頂いたが編集後記は苦手だ。決議や質問は事実を客観的に書けばいい(それも難しいが)。しかし、編集後記には制約が無い。さて何を書こうかと悩む。頭に浮かぶは信毎「斜面」、タイムス「みずす野」。駄目だ、ますます筆が進まない。今日は3月18日松本市長選の翌日。◆新聞の見出しに「薄氷」とある。「はくひょう」「うすごおり」と読むのが普通か。しかし、季語では「うすらい」と読むらしい。なんと雅な春の季語。言葉だつて読み方色々。目の前に現れる「事象」を、メディアやSNSにとらわれず俯瞰的・多面的に見られたらと思う6年目の今日この頃です。

(中村 文映)

発行責任者

議長

編集委員

委員長

副委員長

委員

北村 直樹

小林 弘之

羽多野美映

中村 文映

清澤 あゆみ

清沢 正毅



▲こちらから
朝日村議会の
ホームページを
御覧いただけます